

## 二番町地区のまちづくりについて

### ○ 番町次世代シンポジウム 実施概要

開催日時・場所：2025年1月12日(日) 午後1時～午後5時 千代田区役所10階 食堂

申込者：在住30名、在勤7名 計37名

参加者：在住25名、在勤3名 計28名 ※当日2名欠席(在住)

アドバイザー：東京大学 加藤教授（都市計画審議会委員）

東京大学 村山教授（都市計画審議会委員）

#### ● プログラム（進行は専門ファシリテーター2名）

##### ・アイデア提案の紹介

参加者募集と同時に開催されたアイデア募集に寄せられたアイデアを配布  
(資料4-2:「アイデア提案」参照)



##### ・自己紹介、気持ちの共有

テーマ：「番町の未来について大事にしていることや、願い」

##### ・本シンポジウムの意味・意義

東京大学 加藤 孝明 教授

##### ・全体対話

「皆さんの自己紹介や加藤先生の講話の感想」「番町で取り組みたい  
と思っているテーマやアイデア」等について、3～4人のグループを作り  
対話をを行う

(資料4-3:P1～3参照)



##### ・アイデアづくりワークショップ

「番町で取り組みたいと思っているテーマやアイデア」を各自が考え、  
似た考え方を書いた人等とグループを作り意見交換し、グループ内で  
投票した上位のアイデアを全員で共有

(資料4-3:P4参照)

(資料4-3:P5～6 参照)

##### ・まとめ

一人一人が考えたシンポジウムに参加して「最も良かった事」、「新しく  
知った事」を全員で共有

(資料4-3 P7～8 参照)



##### ・アンケート

(資料4-4 「アンケート用紙」及び「アンケート集計」参照)

「番町次世代シンポジウム」の開催・参加者募集に合わせて、番町への思いやもっと良くしていくためのアイデアを募集し、いただいたアイデア等を番町次世代シンポジウムの場で参加者の皆様にご案内しました。なお、この提案は今後の地域まちづくりにも活用していきます。

**募集方法・期間** 広報千代田及び千代田区HPにて 11/5~11/19 の 2 週間募集

※シンポジウムの開催・参加者募集と同時ご案内

**応募人数・件数** 16 人（番町周辺住民、男性 8・女性 8）・29 件

### ① 住宅街・文教地区としてのまちづくり

No.	アイデア
1	番町は都市マスにも記載されている通り、一義的には住宅街・文教地区です。住宅地の静かさは繁華街の賑わいとは両立しません。住みやすさを高めるためには、建物の容積率の制限、歩道の充実、私有地・公有地を問わず樹木の維持が必要と考えます。騒音を伴うイベントは学校の活動以外は不要です。番町のお屋敷がマンションに変わることは仕方ないと思いますが、既存の石垣・白壁の保存のために区役所として指導ならびに補助金拠出をする事を提案します。
2	思い：「ああ番町にお住まいですか」、と羨ましがられるような住環境を守る。番町全体で調和を保ち、資産価値が下がるようなことはしない。上品で、静かで、清潔で、空が広くて、緑があって、礼儀を守って暮らす住宅・文教地区を構築する。 アイデア：①歩行者を守るために、地区内の自動車走行速度を 30km/h に強制的に抑える。そのためには、交通量の増加が予想される道路にハンプを設置、或いは、クランク道路とする。②地域の商業が日テレビルのチェーン店により駆逐される可能性が強い（他の再開発の事例）。休祭日は日テレ通りなどを歩行者天国とし、オープンテラス、青空カフェの出店を周辺中小飲食業者に認める。③テレビタレントによるイベント開催はしない。④広い空をキープできるように日テレ二番町ビル以外の超高層ビル建設は認めない、⑤日テレ広場は灼熱強風のコンクリート広場は作らず、緑と樹木広場とする。緑には昼間立ち入りを認める。危険の少ないボール遊びなども小学校低学年以下に限って認める時間帯を作る。⑥番町内の建設物の色彩を統一する。⑦日テレビルにより大幅な通勤客が通勤時間帯に集中して通学生、住民の不便を避けるため、時間差通勤制度を設けて通勤時間帯ごと通行者をコントロールする、⑧以上をエリアマネジメントが総合管理するが、傘下に各委員会を設け負担を軽減する。
3	番町は 1~2 車線の道路幅が狭い、住宅やビルが密集した地域です。高層ビルが建つことによる、ビル直下でのビル風が心配です。ビル間、道路幅が狭ければ、風の影響も強くなると思います。番町には学校や幼稚園・保育園も多く、児童・幼児の通学路への風の影響が心配です。また、ビルを建設する際、公共広場を作るとの案もありますが、強風が吹き下りる広場で子供やお年寄りがゆっくりと憩うことができるかどうか心配です。番町に高層ビルが建ち並ぶことは反対です。

## アイデア提案

### ①住宅街・文教地区としてのまちづくり（つづき）

No.	アイデア
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年私自身が二番町で暮らし、家族・親族を含めれば100年近くこの地に住んできたため、今後とも住み続けられる地域として街の在り方を考えたい。</li> <li>・近年の人口急増（住人・労働者）により公共物、特に歩道の混雑が激しいため、一部区画だけではなく地域全体の将来人口を想定した街づくりを考えてほしい。（今後予想される開発を視野に入れる必要がある。）</li> <li>・大災害に備える地域にしてほしいが、木造密集地ではなく鉄筋コンクリートのビルが多数のため、自宅・各事業所待機を想定した計画。（昼間人口が多いため特に企業の災害対策がどのようにになっているのか。仮に避難所に避難するとして収容可能なのか、冷暖房があるのか等）</li> <li>・人が集う場所も必要だが、二番町は住宅街としての面もあり、音、内容、安全性等どのようにルールを決めていくのか、大まかな住民の合意を集約する場を設ける方法。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日の昼間は会社・学校関係者で活気があり、土日祝日などは静かな落ち着いた住宅街になる、両面のある雰囲気を維持していくことが大事だと思います。</li> <li>よく「赤坂や六本木のようにならないか」との懸念が聞かれます。こうした懸念が生じないようあえて「あまりイベントはやらず、子どもは自由に遊べ、お年寄りはゆっくり休める、都会なのに落着きを体感できる広場」にあるといいと思います。</li> <li>・番町は意外と緑が少ないので、濃厚な緑地空間があるといいです。ビル風も和らぐと思います。</li> </ul>
6	番町の住宅街に高層建築は建てない

### ②美観と交通の整序

No.	アイデア
7	個々のイデオロギーや社会経済状況に関係なく共通する環境負荷と健康寿命の問題を考えると、都市の美観と移動交通システムの改善を優先的に図るべきです。ズバリ、なかなか進まない「電柱の撤去」、およびマンハッタンでも導入される「一般車両の乗り入れ制限」です。
8	<p>今回の二番町再開発について賛成派と反対派が激しく対立している状況において、単にこのシンポジウムを開いても両者の溝は埋まらず、かえって対立感情が激化するだけと思われます。</p> <p>反対派が懸念している事項のうち、特に通勤・通学時間帯の日テレ通り歩道・有楽町線麹町駅の麹町口の混雑とその緩和策のシミュレーションと評価、イベント時、大地震発生時の上記ならびに日テレ通り車両交通渋滞のシミュレーションと評価を千代田区として第三者機関に委託して客観的な見解を公開し、それをもとに計画の妥当性を賛成派と反対派で各々検討することが重要かと思います。本件について千代田区がそのシミュレーションと評価を一方の当事者である事業者（今回は日テレ）任せにするべきではないと考えます。</p>

## アイデア提案

### ②美観と交通の整序（つづき）

No.	アイデア
9	階段状の建物は、セブンイレブンの本社を番町文人通りから見たようなイメージです。番町の丘、なんてどうでしょうか。
10	番町バス停付近を、渋滞が解消され、緊急車両進入に支障のないようにしたい。日本テレビ通りは、車道の道幅が狭いバス通りです。番町バス停に都バスが停車すると、その後ろに渋滞が発生することは珍しくありません。日テレ跡地に、就業者が数千人の建物が建つと、通行車両が増加して、今以上の頻度で今以上の渋滞が発生する可能性が心配されます。渋滞時に災害や火災が発生すれば、求められる緊急車両の進入に支障が生じることも危惧されます。新橋駅と小滝橋車庫の間の都バスは、ノンステップバスを使って運行されていることもあります。高齢者にとっても乗降の負担が軽いので、有難いバス路線です。街の安全・安心のためには、都バスの渋滞回避を回避して運行することが重要です。都バスのバス停前後の車道幅を拡げる、或いは、都バスを日テレ敷地の中にいれて乗降客に乗降してもらう、或いは、その他の方策を工夫することができると考えられる。渋滞の回避と緊急車両進入に支障のない状況を確保しておくことが望ましいと考えます。都バスを、交通広場に乗り入れさせて、客の乗降を行わせることも有効かも知れない。これは、日テレの建てるテナントビルの利用者の安全確保にも必要なことになります。
11	【道路の美観と安全性向上】 個人的に、番町エリアの道路は他の住宅地に比べて、問題が多い箇所が散見されるように思います。二七通りは何年経っても凸凹のボロボロで工事中？です。安物の緑色のガードレールが多く、ボロボロで歪んでいるものもあり、幅も隙間も少ないため、それ違う歩行者の障害になっています。歩道と車道が色分けされているところもあれば、白線だけのところもあり、統一感がありません。あちこちに電柱が立っており歩道から車道へ出ないと歩行者が進めない箇所が多々あるため、事故の原因になりかねません。今後より住みやすい街にしていくためには、電柱の埋設化、ガードレールの交換、道路デザインの改善と統一などが必要であるように思います。

### ③安心・安全の向上

No.	アイデア
12	建物の規模や施設の種類によっては車寄せや荷捌き場の設置を求めるなどを、安全な街づくりの一環として検討してほしいです。道の広さは昔と変わらないのに建物が大きくなり、渋滞や危険な状況が発生しやすくなっていると懸念しています。
13	地下鉄有楽町線麹町駅番町口改札階と新木場方向行きホーム階の間にエレベータ・エスカレータをつけて、高齢者や障害者の地下鉄利用を現実的に可能にする。
14	保水性のある舗装は、効果が認められているならば実現して欲しいです。
15	課題となっている麹町駅からのバリアフリーであるが、ホームから部分的でもエスカレーターの設置ができないのか。（解決手段を検討できないのか。）

## アイデア提案

### ③安心・安全の向上（つづき）

No.	アイデア
16	<p><b>【番町地域への思い】</b></p> <p>番町は歴史ある閑静な住宅街です。現在は商業ビルも建ち並び、商業地区と住宅街がバランスよく共存し、都会でありながら落ち着いた文教地区となりました。</p> <p>平日は区外からの方が多く行き交いますが、週末や祝日は落ち着いた町に戻ります。住む者にとってはこの環境を守り、繁華街にしないで頂きたい。</p> <p><b>【アイデア】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鬼町駅（番町方面）の完全バリアフリー化。</li> </ul> <p>改札からではなく、駅ホームから地上を繋ぐバリアフリーの動線が必要だと思います。</p>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼町駅の中の階段はそのままと聞きました。体調の悪い人でもホームから地上に上がりやすくなるよう、メトロに働きかけたいと思います。</li> </ul>
18	たき火や乗馬など近隣に不安に思わせるものはやらない
19	<p><b>【救急車及び救急センターの拡充】</b></p> <p>鬼町消防署の職員さんから聞いたお話を、番町エリアは火事は少ないが救急の電話が多いそうで、それに対し救急車が永田町出張所に1台のみとのことでした。東京消防庁のウェブサイトにも救急車が足りないと書いてありますので、お年寄りの多い番町エリアでは救急車の置き場を追加確保する必要があるように思います。</p>
20	<p>治安・風紀の悪化防止の恒常的活動の体制確立：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本テレビのスタジオ棟で制作される番組の視聴者が、スタジオ棟退出後に、番町文人通り沿いの空地で、集まって飲酒・歓談（路上飲酒など）を続けていることが見受けられると聞いています。日テレ敷地に、スタジオ棟に加えて、超高層のテナントビルができると、日テレ敷地全域でこのような行動が一層盛んになることも懸念されます。</li> <li>・については、定常的な見回りが行われ、このような人には、適時適切に、散会、撤収を促す活動が定常的に確保されることが必要です。</li> <li>・このような活動が恒常的に行われて効果を挙げるようとする体制の確立を提案します。</li> </ul>

### ④憩いの場の創出

No.	アイデア
21	番町は風格や落ち着きがあって素敵な町だと思います。憩いの場があるともっと良くなると思います。バッタリ会った知人と、ちょっと立ち話をしようにも、通りの邪魔にならないか、ご近所のご迷惑にならないかと憚られる。椅子のある広場や緑地があると嬉しい。歩きたくなる広々とした並木道もあると嬉しい。（緑はヒートアイランド対策にもなるそうですし。フラワーロードは、有志によって花が植えられていると聞きました。素晴らしい取り組みだと思います。花を愛し、緑を愛し、人を、町を愛する心温まる街になると良いと思います。）

## アイデア提案

### ④憩いの場の創出（つづき）

No.	アイデア
22	<p>番町麹町は、歴史と伝統が息づく、落ち着いた雰囲気の街です。しかし、近年では、子どもの遊び場不足や、地域住民の交流機会の減少といった課題も耳にするようになりました。</p> <p>そこで、私は、地域での活動経験を活かし、「番町をよくするアイデア」を提案します。多世代交流の場としてのコミュニティースペース、全天候型屋内プレイパーク、タウンミーティング、地域メディアの運営</p> <p>これらの提案を通して、番町麹町が、多世代が交流し、子どもたちの笑顔があふれ、住民の声が反映される、より活気のある街になることを願っています。</p> <p>●多世代交流の場としてのコミュニティースペース</p> <p>従来のコミュニティースペースの概念を超えて、様々な世代の交流を促進する場を創造します。</p> <p>キッチンスタジオ：料理教室や食育イベントを通して、食を通じた交流を促進します。</p> <p>銭湯：地域住民の憩いの場として、世代を超えた交流を生み出すとともに、健康増進にも貢献します。</p> <p>図書スペース：子どもから大人まで楽しめる図書を揃え、読書会や勉強会などを開催します。</p> <p>●全天候型屋内プレイパーク</p> <p>近年の酷暑や、乳幼児の安全面を考慮し、天候に左右されず、誰もが安心して遊べる屋内プレイパークを整備します。</p> <p>乳幼児専用スペース：安全に配慮した遊具を設置し、おむつ替えや授乳スペースも完備します。</p> <p>ユニバーサルデザイン：車いすやベビーカーでも利用しやすいよう、段差をなくす、広々とした通路を確保するなど、ユニバーサルデザインに配慮します。</p> <p>多様な遊具：年齢や発達段階に合わせた遊具を揃え、子どもたち的好奇心と創造性を刺激します。</p>
23	<p>●日テレが広場を作るそうですが、老若男女の住民が休日に憩える広場にしてほしいです。</p> <p>客寄せ、賑わいづくりを目的としたイベント広場は反対です。</p> <p>音、異臭を発するようなイベントの開催は反対です。</p> <p>●マイクを使用するようなイベントは年1回の盆踊り位で十分だと思います。</p> <p>●番町周辺には東郷公園、外濠公園もあります。これらすべての広場や公園を包括的に管理するシステムが必要だと思います。</p> <p>日テレの公開空地だけを管理するエリアマネジメントではなく、イベントの規模や目的に応じた広場を割り振るシステムが必要です。</p> <p>●外濠公園の利用率を高め、区の収益アップにもつながるといいと思います。</p> <p>●外濠公園に開閉式の天井、壁を作り、全天候、様々なイベントに使える公園にしたらよいと思います。</p>

## アイデア提案

### ⑤その他

No.	アイデア
24	<p>参考資料として添付している第9回日テレ協議会のアンケート集計オープンハウスの実施計画が参考になるのではないか。ここでは「日テレ通りに感じる魅力」と「日テレ通りをより良くするために必要と思う機能・施設」がまとめられており、上位に位置づけられている魅力や機能・施設は何れも納得感のあるものとなっている。これを活用しない手はないと思う。</p>
25	<p>○日テレ跡地に二番町地区地区計画を変更して建設・整備される街区公園並みの空地と超高層ビルの屋上や側面を活用して、三井住友海上駿河台ビルに倣い、緑地内にバードパスクとビオトープをつくり、エコロジカルワークにも寄与しバードウォッキングもできる場所をつくることを提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三井住友海上駿河台ビルの緑地は、高層ビル屋上にイワツバメが営巣するようになっており、千代田区の「平成28年度生物多様性大賞」最優秀賞を受賞している施設で、生物多様性に加えて、地球温暖化対策、自然環境教育推進など様々な観点から素晴らしい施設になっています。</li> <li>・千代田区には、残念ながら、これにつづく環境整備、特に、イワツバメが来るような場所は、番町麹町以外では、たくさんの中層建築物が建てられていながら、今のところできていないと思います。番町麹町地区にも、同様の施設が配置されることは、番町麹町の住民のみならず、千代田区全体にとっても、望ましいことだと思います。</li> <li>・日テレ再開発では、超高層ビルが建てられることになっていますので、番町地区に、駿河台に倣って、自然界では断崖絶壁に営巣するイワツバメ（ヒメアマツバメ）は超高層ビルの屋上にコロニーをつくり、ビル壁面に沿って飛翔するのがみられ、その他さまざまな種類の野鳥のバードウォッキングを楽しめる場ができれば、広範な年齢の子供たち、子育て家族から高齢者まで、この街区内の多くの人々に、素敵な環境を提供できるようになり、心からの地域貢献を望んでいると言われる日本テレビにとっても願いが叶い、申し分のないものになると思います。</li> </ul>
26	<p>●タウンミーティング 地域住民が主体的に地域課題について話し合い、解決策を探る場として、タウンミーティングを定期的に開催します。 地域課題の共有：防犯対策、防災対策、環境問題、子育て支援など、地域課題を共有し、解決策を検討します。 専門家による勉強会：専門家を招き、地域課題に関する知識を深める機会を設けます。 相談窓口：悩みや困りごとを相談できる窓口を設け、地域住民同士の助け合いの精神を育みます。</p> <p>●地域メディアの運営 番町エリアの情報発信を強化し、地域住民のQOL向上に貢献します。 地域情報サイト：イベント情報、お店の紹介、地域住民のインタビューなどを掲載します。 地域新聞：地域のニュース、住民の活動報告、コラムなどを掲載し、地域への愛着を育みます。 コミュニティFM：地域密着型の番組を制作・放送し、地域住民の声を届けます。</p>

## アイデア提案

### ⑤その他（つづき）

No.	アイデア
27	<p>当園のこどもたちは東郷公園や千鳥ヶ淵公園や番町の森などにお散歩に行って、遊具で遊んだり、走り回ったり、葉っぱや虫を探したり触ったりしています。</p> <p>マンションの周りでお散歩したり、遊んだりしていると静かにするよう注意されることもあります。</p> <p>こどもたちが元気に遊べる場所をたくさん作ってほしいです。</p>
28	<p>【駐輪場の拡充】</p> <p>番町エリアではマンションにお住いの方が9割以上とのことですが、基本的に多くのマンションは1室につき1台の駐輪場しか設けておらず、それ以下のマンションもあります。子供を自転車に乗せてあげたいのですが、置き場がなくて困っています。既存マンションが駐輪場を拡充することに対する助成金制度や空いている駐輪場を地域住民へ貸し出すような取り組みがあると大変助かります。</p>
29	<p>地域の保育園の園長先生から聞いたのですが、隣接マンションから地域のカラーではないという理由でクレームが入るため、園の窓を開けられない、園庭で子供を遊ばせられない、園の前で保護者がお迎え待ちできない、といった状態だそうです。一部のマンションからは承諾を得られ、その方向の窓だけは開けられるそうです。これについてどう思うかシンポジウムでもご検討頂きたいです。</p>

## ■番町次世代シンポジウム 当日の発言内容

### 全体対話の発言内容

■「皆さんのお自己紹介や加藤先生の講話の感想」「番町で取り組みたいと思っているテーマやアイデア」等について、3~4人のグループを作り対話を行った

**1 グループ** 加藤先生からお話をいただいた「限られた情報で判断しない」っていうことに対して、それが限られた情報なのか、適切な情報のかつていうのを判断するのが難しいよね、という話が出来ました。ただ、あってはならない未来の共有っていうのはみんなで共有できそうなので、そこから話を始めて、そのために何をするのかつていうのを考えていくっていう方法がありますね、というようなことが出ていました。

あと、子育てをしてみて、すごく気持ちが良かったから好きになったとか、今子育てをしていて、まさに本当にそう思ってるよ、という話もありました。あとは日テレの再開発の話が出てきた際には、繁華街になっちゃうと困るんだけど、全く静かなところで地域活性化じゃなくなっちゃうのも困るよねと。その辺がほど良い感じになって、住んでいる人も学校に行っている人も今の快適な環境が守られるようなふうにしていけるといいね、という話がありました。

**2 グループ** 初めの班が言っていたように「あってはならない未来です」とか「こんなまちには住みたくないよね」というところで、ちょっとびっくりしました。なぜ今そんなことになっちゃうのかなっていうので、実は私達知らないことが多すぎるんじゃないか、いろんな研修会みたいなものとか、そういう機会がありますよ、と言われても実はよくわかっていないし、今回こういうに初めて参加して、こういう取り組みをいつもされているのかといったらどうもそうではない。そういう意味で、本日のようにもっとオープンに、今回のワールドカフェみたいな感じでもいいんですけど、もっともっとみんながいろんな話ができるようなそういうものを、ぜひ区の方には積極的に主催していただきたいな、みんなに教えて欲しいな、というような意見がまず出ました。それで、round2では、番町に住んでいて「いいよね」というような話になったんですけど、そこで治安の良さというものが取り上げられました。ただ、新しい住民の方も多くて、私達が当然と思っているようなことが共有できないようなシーンがあるんじゃないかという意見が出ています。そうなったときに、やはりいいところだからみんな来たい、そういう情報を持って大勢の方がいらっしゃるんですけども、いいところを望んで来たのだから、さらに良くなるように一緒にまち作りに協力していくって欲しい、そういうふうに伝えていくといいのかな、というような話がround2では出ました。round3ではそれを共有しました。

**3 グループ** かなり主観も入りますけれどご説明します。round1では、番町小学校に関係ある方が2人いらっしゃったんですけど、卒業した後はコミュニティが全くなくなり、関係がなくなり、相続税があまりにも高いので、次の世代が住めないということもあるんだろうと。その中で、コミュニケーションを保っていくためのものとして、一つは町会というのがあるんです。町会は比較的興味ある人は意外と多いんだけど、町会にどうやって入っていいかわからないし、町会自体が開かれていなくて、このやり方がもう少しあるんじゃないかということがありました。それから、「あってはならない/なってほしい」というところでは、今の番町の森は、子供は遊べてとてもいいんじゃないかという話になって、今回、日テレエリアの1つに今の番町の森のような、緑豊か

で、それらが見えるようなどこに本当になっていくんだろうか、なってほしいね、という使い方の辺について議論がありました。そのためにはエリアマネジメントが重要だなど、エリアマネジメントというのを日テレにやらせるんじゃなくて、住民が一緒になって主体的にやるべきで、おそらくその費用も公共が出すべきだという話になりました。ボランティアでやるべきだという話に対しては、いろんな議論がありました。

それから round3 では、取り組みたいテーマとして銭湯が欲しいという話がありました。これは何かというと、先ほども話に出ましたがコミュニティの場ですね。そのための一つは、自動車のスピード制限、例えばハンプやクランプを設けて、とにかく遊歩道を広げる。No.4 っていうオープンカフェがあって、何で今流行っているのか。広々とした遊歩道にオープンテラス、オープンカフェが広がるようにして、地域の周辺の飲食店が自分のアイディアと工夫でやるようになると、とても楽しいんじゃないかという話が出ました。

**4 グループ** 番町の良さということを標語的に言うと、一番に「災害に強い」「治安が良い」「インフラが整っている」「教育環境がいい」また、「安心安全」「文化」「落ち着き」ということがキーワードとして出てきました。これらを大事にしていきたい、大事にしていく上で、ハード面では、防災の強化ということで電柱の地下化を進めてほしい。ソフト面では、外国人が急増しているので、外国人に対しても、例えば教育が行き届くような環境を作つてほしい。それから町会と、新住民といいますか、新しく入ってきた特に若い世代の方々の融合の機会を増やしてほしいということです。象徴的な言い方をすると、金太郎飴のようなどこにでもあるまちにはしたくない。今の良さをぜひ維持していきたいということでした。私の方から「そのためにこのような会議があるのではないのかな」と申し上げたら、ある方から「区役所のアリバイ作りにはしないで欲しい」というコメントがありましたのでお伝えいたします。

**5 グループ** まとめることはできないんですけども、最初に自己紹介をしたとき、ちょっと若い世代がいたので、学校の話とか、学校も一つのコミュニティの場になるという話もしてたんですけど、番町の良さというのは、都市なのに案外地味なまちでお屋敷街のイメージがあるというような、みんなそれぞれ番町がいいなっていう思いがあった。ただその番町というもののイメージが、世代やどのぐらい住んでいるか、いつ来たかといった状況によって違うので、それを今後どうやって統一していくのかが大事。それから、町会の話が意外と出ていて、マンションの住民だと「お祭りとかに券をもらったりするんだけど、町会って何?」というようなことで、よくわかっていない。今回のいろんな問題の本質について、合意形成がなされていなかったり情報公開がされてなかつたりということが結構問題だったのかなと思います。そういう意味では各町の町会は結構大事な場所だと思うんですけども、割とクローズされてしまつて入りにくいということなので、新しい形の町会のようなものがあるといいんじゃないかというような話がありました。

日テレのことに関しては、大きな広場を作るという意味では最後の機会なので、2500 平米の広場は非常に良いということで、その経済の合理性を考えると、それは高さが高くなつても仕がないんじゃないかという意見がある一方、経済合理性だけを求めたら、番町の価値が下がってしまうからそこは気をつけなければいけないということと、今後の 2500 平米の広場の運営に関しては、誰が管理するのか、誰がお金を出すのか、ボランティアなのかどうなのかというところが今

後一番大事になってくるんではないかということです。あとは、防災も気になる、電柱をなくしたい、という話も出ていました。まとまらなくて申し訳ないです。

**6グループ** まず round1 では、番町は閉鎖的なイメージがあった中で、日本テレビが行っている盆踊りで番町を活性化していきたいという思いが強い。そこで、番町を活性化させていくにあたって round2 で出た答えが、「もっと地域に関心を持ってもらうために、情報伝達・公開をもっと広げていかなければならないのではないか」という意見が大半を占めました。その中でも、インスタグラムでも情報公開するなど、また、自分で探すという負担を起こさないようにするためにも、皆さんに情報が来るように、千代田区でも情報公開にもっと力を入れていきたいという考えがありました。都市計画は住民のもので、どのようなことに興味があるのかであったり、情報公開をオーブンにすることが一番で、こういうことがありますよという情報伝達を、千代田区全体としてもっと工夫していきたいという意見が出ました。よろしくお願いします。

**7グループ** ここでは、都市型の自然緑化、ビオトープや防災、子供の教育とか、誰でも使える広場が欲しいとか、そういう話が出ました。ビル風はどうなるかとかいう話も出ましたけれども、私の意見としては、番町はもう昔の番町ではないのですよ。番町でボランティアが育たないという話もありますし、何十年もボランティアしてる私にとっては、本当に番町ってなかなか難しいのですがね。テーブルに港区の方がいらして、港区はものすごく開発がうまくできていて、港区から番町に越してきた人が非常に上手に開発をしてくれたという話をしていたんです。警備の人が多くて、夜も怖くないしという話があつたりして。

だから、考え方だと思うんですよ。広場を広くとって、そこで防災と教育とビオトープみたいな自然環境と融合させるといいと思うんですけど、いかがでしょうか？

## アイデアづくりワークショップの発言内容

■「番町で取り組みたいと思っているテーマやアイデア」を各自が考えを発表した

- ・防災広場とビオトープ、多世代が参加できるSPAが欲しいです
- ・防災とチョウチョのツリー、実のなる木々の世界？
- ・多世代や多様性を生かした活動
- ・地域コミュニティの支援、イベント開催など
- ・2500 平米の広場の有効利用方法の開発
- ・新旧住民の友好、長く住み続けることのできる政策に期待
- ・番町地域の活性化に取り組んでいきたいと思います
- ・番町地域イベントの多種多様な活性化です
- ・みんなのための憩いの場づくりです
- ・これからの中より良い開発の形とより良い広場の運営
- ・番町の子供にバスケットボールを、ボール遊びさせたい！
- ・駅にエレベーターを+子供の遊び場をもっと！
- ・日テレ×千代田区イベント=週末ビオトープ旅  
目的：町内会強化・子供の学び
- ・地域空間盛り上げ隊の作成、インスタで番町地域の情報プラットフォームをつくる、クラブ活動を通して新しい形の地域ネットワークをつくる
- ・番町で再開発に携わりたい、住民の意見聴取を行いたい、テーマとしては「Open Future by art」という形での未来の開発を考えました
- ・誰でも気軽に参加できるイベントに参加して、多様な人と知り合いたい
- ・全番町・オール番町で、気持ちとしては番町と名のつくところだけでなく、お堀の西側全部を統括したいということだが、今まで知っていることや技術だけでなく、新しいテクノロジーや工夫と協力で問題を解決出来たらうれしいと思います
- ・住み続けられるまち、銭湯のあるまち
- ・いつでも遊べる全天候型の遊び場
- ・広い遊歩道を作り、オープンテラス・青空カフェを出すことを推進する  
ハンプ、クランプなどで、自動車走行スピードを制限し、歩行者を守る
- ・安全でゆっくりできるまちでありたい、住み続けられるとは何か、誰のことなのか
- ・番町エリアのまちなみの保全と発展です
- ・抽象的なんんですけど、歴史の共有（美観・デザイン）です
- ・絵を書く、伝える、です
- ・この場で、番町のまちへの愛着心というものが、多くの住民が共有できるものだと再認識しました。それを前提にして、住民が感じていること、考えていることを意見交換する場の必要性が今後ますます求められると感じました。今の時代、みんないろいろなことを感じているし、それを言える雰囲気も出てきたので、すごく良いなと思っています。そのための情報伝達の仕方・メディアのあり方の工夫が必要なんだろうと思います。何よりも、情報公開の重要さを感じました。
- ・イベントや町会などの情報発信用 SNS の運用、子供を性犯罪や闇バイトから守るための専門家とのコラボによる講演
- ・静かで品位のある番町の維持と公共の役割の確認
- ・番町の良さは落ち着き、したがって、静寂を求め、賑わいを抑えたい

## アイデアづくりワークショップの発言内容

■各自が考えたテーマやアイデアを見て、似た考えを書いた人等とグループを作り意見交換し、グループ内で投票した上位のアイデアを全員で共有した

**Aグループ** 4人のうち2人は絵描きさんでした。残りの2人は番町の住民ですけれども。従って、芸術のまちにしたい、音がないイベントとかゲーム展覧会とかギャラリーとかありますが、要は象徴的には展覧会や美術館があるまちにしたいというのが一番でした。それからこれは刺激的なんですけれども、昼間人口を抑制すべきであると。それは、車の通り抜けの禁止とか、マンションをつくるときに石垣の保存をするとか、そういうことによって、昼間人口を減らす、逆に言うとオフィスビルよりもマンションを優先したらどうかという感じです。それからもう一つは緑や街路樹の三つを挙げました。

**Bグループ** 2人だったんですけど、抽象的な良い開発っていうのと、広場の運営と全番町・オール番町というところが双方のアイディア・出発点だったので、まず人が優先、歩道をもっと広く、広場ではなくて歩道を広くする。そのやり方としては、建物が出来るときに塀を引っ込めて歩道にするとその分広くなる。これは各々の建物で協力する。それからイベントは一時的なものなので、道路ジャックで、道路をそのときは止めて。次に、この一番下に「大きいことはいいことだの時代は終わり」と書いてあるんですけど、何でもできるように広いところを確保しようとすると、結果的に何もできないので、目的別にするということで、イベントは道をジャックしてそこで行けばいいんじゃないか、ということです。

**Cグループ** これがすごく発表が難しくて、この通り10個テーマが出たんですけども、星印をつけているうちに、これ全て共通項目だという話になりました。例えば一番票が集まったのが建物の外観ルールブック（例えば高さ色形材質など）を作るんだと。でも、これって「番町はどういうまちかを教える」ということと「ビルの高層化の制限」とか、それらとみんな一緒にねって話になっちゃいます。それから、「安心安全なまちづくり」に票が集まっているんですけど、その中に「広い遊歩道を作る」「緑を増やす」「ハンプやクランクを作って自動車のスピードを強制的に制限する」など、全て含むとなっちゃいます。「ルールブックを作つて番町がどういうまちか教える」というのも「賑わいが不要」とか「番町の特徴を増やす」とか、話しているうちに全部に共通だということで、「共通的に全部に票が入る形になっちゃうな」という話になっちゃいました。この辺で勘弁してください。

**Dグループ** 私達は多世代・多様性でちょっとゆるいイベントを開きたいということで20数個出ましたけれども、それで投票してみたら、大体2票入ったのが5つあるんですね。まず、希望する人でゴミ拾いの後、みんなでお茶する、それからお茶会をする「番町で番茶、飲み比べ」と。それから、次は外国人の方が多いので外国人の方による調理会、昔に区でやっていただいたこともありますけど、そういうのがまたできると楽しいかなと。こちらは、まずまち歩き系なんですけど、まちのいいところ探しをして、みんなで集めてそれを出し合ってやる。最後は、文人通りでは文人さんをいっぱい輩出していますけど、その人たちの本を読む読書会をしてみてはどうかということが2票ずつ集めました。

**Eグループ** 本当にまとめるのが難しいんですけど、とにかく町内会で新旧の方が繋がるようにオンラインで情報発信をしたり、相談ができるようになったりしたらしいなという話と、住み続けられるためには区民住宅とか住宅を充実させた方がいいんじゃないかと。あと、住みやすさということでバリアフリーということで、例えば駅のエレベーターをもっと増やすとか、土手道をバリアフリーにするとかっていう話が出ました。あと子供たちという観点で、ポール遊びができる場所を増やしたいとか、企業とコラボして、自然と触れ合うイベントみたいなものもあったら、もっと住みやすくなつて番町が活性化するんじゃないか、という話になりました。先ほどの発表にもありましたけれども、番町の歴史、文人通りとか、すごい貴重な歴史がいっぱいあるんだから、そういうことをもっとアピールできるように、学校の番長みたいな感じで、インフルエンサーがまちにいたらいいんじゃないか、半蔵門駅の音楽を瀧廉太郎に変えるとか、もっと番町らしさを出していったらいいんじゃないかという話で終わりました。

**Fグループ** 「再開発の広場をどう有効活用していくか」というのがテーマでした。その中でアイデアが出たんですけど、広場と広場を取り巻くビルの中をどんな使い方をしたらいいか、というところで、一番は住民の方が日々の食を満たせればということで。イメージとしては、デパ地下とか、戸越銀座がビルの中にあるみたいな、食べたいもの、色々な美味しいものがすぐに買えるようなお店があるといいね、と。

次に多かったのが銭湯ですね。最近、原宿の東急ビルの中に小杉湯が入って人気らしいんですけど、それに近しい近所の人とかがさと風呂に入れて、隣近所の人がここにちは、と言えるような銭湯があるといいね、という話です。これと少し関連するんですけど、それが防災にも繋がる。要は水をためたりすぐ水が出る場所があることは防災に繋がるということなんんですけど。それも含めて広場が、地域の人たちがいざというときに何か役に立つ場所になるといいなというアイデアでした。

**Gグループ** 「子供たちに遊び場所を作りたい」というところがテーマでした。私の子供がバスケットボールをやっていまして、千代田区のバスケット協会とか、所属している子供たちの人数、数百人がこの狭い千代田区にいるんですね。バスケって狭くてもできるんですよ、3on3って15m×11mのコートがあれば出来ますし、2500 m<sup>2</sup>のその広場にバスケットコートを一部作ってもらうだけで、子供たちのサードプレイスになって、全身運動のスポーツができて、スポーツしてる子供がっこいいなというのを子供たちが見ることができて、親子のコミュニケーション、地域のコミュニケーションも生まれますし、イベントを作ることも出来ますし、3on3の大会をすることでBリーグだとか、3on3のプロリーグから選手が来て、みんなで盛り上がるような地域イベントも作りやすいので、子供たちと一緒にそういったことをやりたいなという話をして盛り上がりました。

## まとめの発言内容

■一人一人が考えたシンポジウムに参加して「最も良かった事」、「新しく知った事」を全員で共有した

**一人目** 私は番町に住んで8年目ぐらいですけれども、今日初めて広報紙とかそういうのしか知らないかった、特に番町に長く暮らしていらっしゃる方の声や思いが知れたというのが私にとって一番良いことでした。例えば、日テレの問題で汗をかかれた方がどういう思いでやられているとかですね、文人の話とかそういう歴史の話を大事にされているといった話は、広報紙を見ているだけだとピンとこないところもあったんですが、そういうものを支えていらっしゃる方がいて、私みたいな者が新しく増えてるんだなというのを実感したのが最も良かったことです。新しかったことは、例えば子供の遊び場、ボール遊びができるというニーズであったり、バスケットゴールがまさか全部の小学校にないとかそんなこと知らなかった。銭湯やスーパーを求めていらっしゃる方がこんなにいるんだというのが私としては衝撃だったので、本当に聞かないとわからないことがいっぱいあるなというのが今日新しく知れたことです。参加させていただきありがとうございました。

**二人目** 自己紹介時に話しましたが、私は埼玉県に住んでいて、東京の大手町で勤務しています。その中で最も良かったこととしては、自分のテーブルの方と一緒に意見交換をした際に、私と一緒にになった方の中でも、皆さんの意見が結構すさまじくて、私が提案した内容でも皆さんが快く受け入れていただき、本当にありがとうございます。そこが最も良かったことです。

また新しく知れたこととしては、「お子さんがスポーツを行うに当たって」というテーマに関してです。私も主にスポーツ分野で、障害者スポーツに競技者としても力を入れている中で、例に挙がったバスケットボールをやるまでの設備環境をもっと改善したい、整えたいという意見が出たことから、スポーツ面での課題に対しても意見をしっかり聞くことができたことが新しく知れたことです。短い時間でしたがありがとうございました。

**三人目** 最も良かったこと、新しく知ったことは同じなんですけども、今日30人が集まっている、みんなほとんど同じ意見だと思ったんですね。同じ意見というのは、みんな番町を好きで、番町を良くしたいと思っていたというのが30人全員だったというのが最も良かったことです。

新しく知れたことでいうと、皆さんコミュニケーションを取りたがっているということがよくわかりました。そういう意味では、町会がもっと頑張ってくれて、町会に入りやすくしたいとかですね。これだけ同じことを考えて同じように良くしたいと思っているんですから、加藤先生が言われたように、マネジメント次第でうまくいくんじゃないかなと。やり方と誘導の仕方次第なんじゃないかなと思ったのがとても印象的でした。

**四人目** 先ほどの最後のセッションで案を出して、皆さんも同じような話、案を出されていた方が多かったので。番町は歴史的に武家屋敷のエリアから始まって、文人通りもんですけど、文化人が多く住んでいてというのを誇りに思って住んでいる方が、新しく入って来られた方も含め多いと思うんですね。でもご存知ないまま入って来られる方もいらっしゃると思うので、そういう情報を決して上からではなく、共有して価値観を共有して、いいところは取り入れながらも、昔から続いているものを続けていけたらな、番町教室みたいなものがあったらいいなみたいな話をした

んですけど、他のグループの発表でも似たようなお話があったので、やっぱり皆さん結構同じような価値観を共有されているんだなというのがよかったです。

**五人目** 本当に最も良かったなと思ったのは、中学のころから番町に住まれている方は、地元がとにかく好きで、とにかく地元のことをよく知っている。私もいろんな統計データとか見てきたんですけど、それ以上によく知っていらっしゃるので、その番町愛の凄さが、本当に知れてよかったです。ただやっぱりそこに日本テレビがどう乗っかってくるのかということが大事だということがわかったかなと思います。

新しく知れたことというのは、やっぱり昔の古き良きを大事にしすぎるあまり、どこか排他的な部分がちょっとあるなというのは、いろんな方の意見で聞かれました。でも、新しく入って来てる方も何人もいらっしゃいますね。そこですごく感じたのが、オンラインで町内会をやった方がいいんじゃないかということで、我々のチームは盛り上がったんですね。それぐらい、情報共有というのが求められている。だから、日本テレビがどこまでやるかわかりませんけど、放送局がやれることってそういうところのハブでもあるのかなとか、情報発信が得意な会社なので、そういうことをしっかり対話して、日本テレビにちゃんと伝えていきたいと思ったりしています。アドバイザーの方も頷いていただいているんですけど、そういうことです。個人として思ったことを今日は申し上げたということでございます。ありがとうございました。

## 番町次世代シンポジウム アンケート

本日は「番町次世代シンポジウム」にご参加いただきありがとうございます。

アンケートにご協力を願いいたします。

なお、アンケート結果は区ホームページ、千代田区議会・委員会、都市計画審議会等に説明(公表)させていただきます。予めご了承ください。

### ■あなた自身のことについて

年代	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80歳以上
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 答えたくない
職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 専業主婦・主夫 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他
番町地区との関わり	<input type="checkbox"/> 番町地区に在住 <input type="checkbox"/> 番町地区に通勤・通学 <input type="checkbox"/> その他( )

### ■これまでの番町地区の説明会等の参加について

Q1	番町地区でこれまでに開催された説明会や公聴会、オープンハウス等に参加したことはありますか。
	<input type="checkbox"/> 何回か参加した <input type="checkbox"/> 一度参加した <input type="checkbox"/> 知っていたが参加したことはない <input type="checkbox"/> 知らなかつた

### ■本日のシンポジウムについて

Q2	本日のシンポジウムを知ったきっかけをお教えください。
	<input type="checkbox"/> 区ホームページ <input type="checkbox"/> 広報千代田 <input type="checkbox"/> 区ポータルサイト <input type="checkbox"/> 掲示板 <input type="checkbox"/> 知人から聞いて <input type="checkbox"/> その他
Q3	本日のシンポジウムの満足度をお教えください。
	<input type="checkbox"/> とても良かった <input type="checkbox"/> まあまあ良かった <input type="checkbox"/> あまり良くなかった <input type="checkbox"/> 全く良くなかった
	⇒そのように 感じた理由
Q4	ワールドカフェの全体共有の中で、特に印象に残った意見や内容をお教えください。

Q5	チェックアウト(Good & New)の中で、特に印象に残った意見や内容をお教えください。
----	---

裏面へ続きます

Q6 シンポジウムの参加前と参加後で、変わったことがあればお教えください。

Q7 今回のように、多様なメンバーと意見交換を行う場が番町地区に必要と感じましたか。

とてもそう思う そう思う あまり思わない 全く思わない

⇒そのように

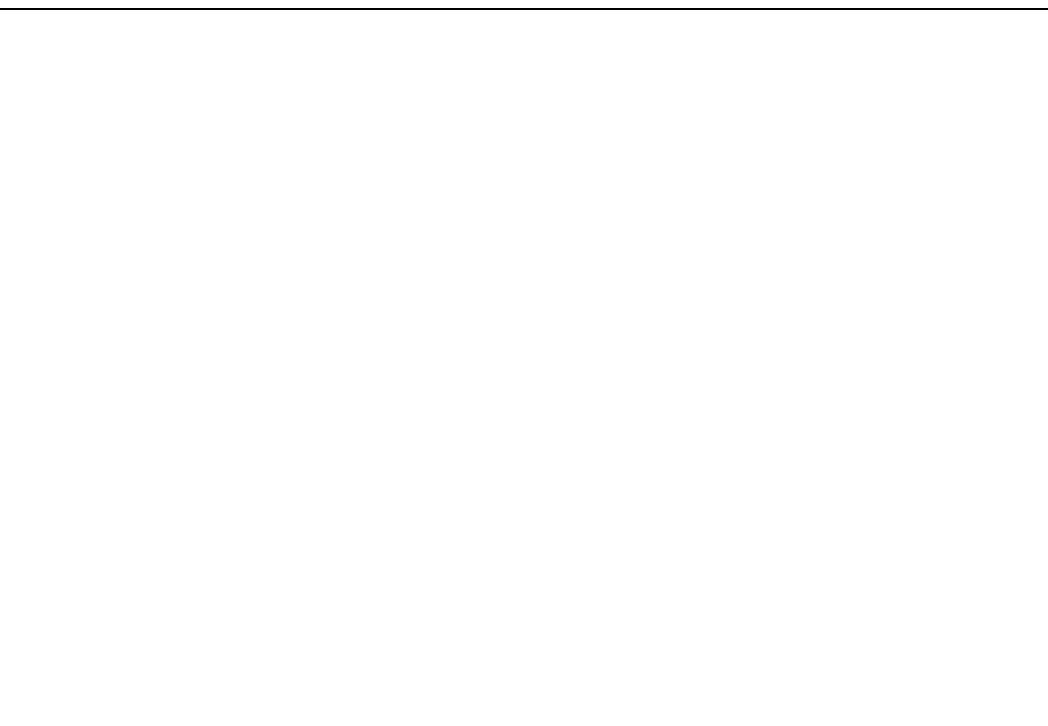
感じた理由



Q8 Q7で「とてもそう思う」「そう思う」とお答えした方にお伺いします。

意見交換の方法について、ご意見があればお教えください。

Q9 今回のシンポジウムを踏まえ、改めて思い描く番町地域の将来像などがあればお教えください。



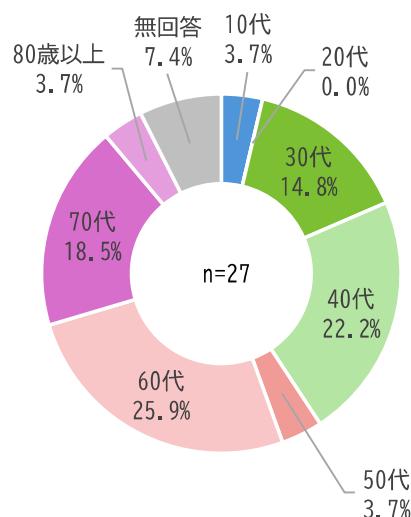
～アンケートは以上です。シンポジウムのご参加及びアンケートへのご協力ありがとうございました。～

## 番町次世代シンポジウム アンケート 集計

### ■あなた自身のことについて

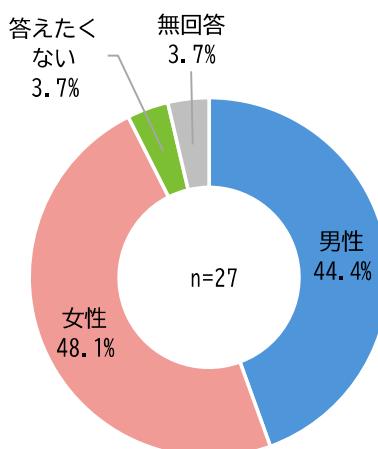
#### 【年代】

		回答数	割合
1	10代	1	3.7%
2	20代	0	0.0%
3	30代	4	14.8%
4	40代	6	22.2%
5	50代	1	3.7%
6	60代	7	25.9%
7	70代	5	18.5%
8	80歳以上	1	3.7%
9	無回答	2	7.4%
計		27	100.0%



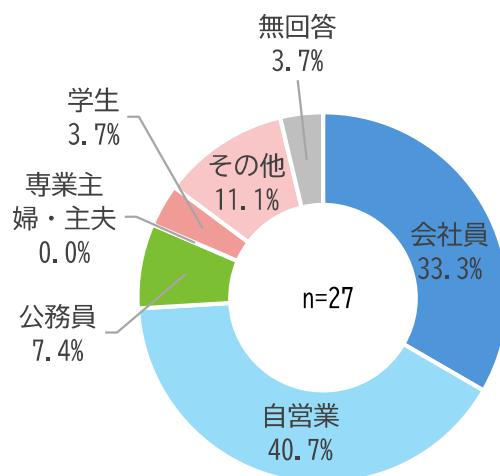
#### 【性別】

		回答数	割合
1	男性	12	44.4%
2	女性	13	48.1%
3	答えたくない	1	3.7%
4	無回答	1	3.7%
計		27	100.0%



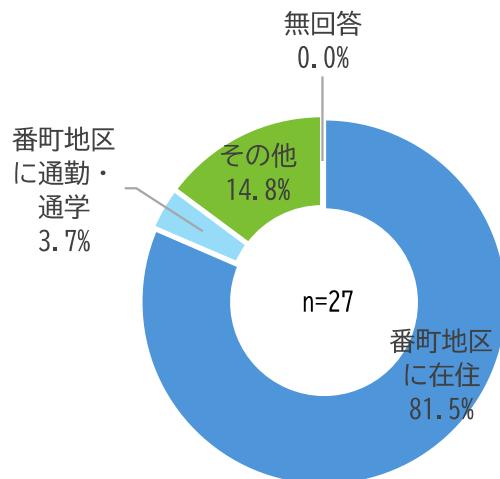
【職業】

		回答数	割合
1	会社員	9	33.3%
2	自営業	11	40.7%
3	公務員	2	7.4%
4	専業主婦・主夫	0	0.0%
5	学生	1	3.7%
6	その他	3	11.1%
7	無回答	1	3.7%
計		27	100.0%



【番町との関わり】

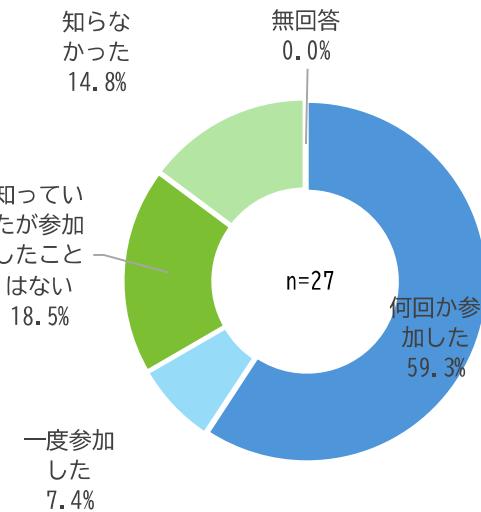
		回答数	割合
1	番町地区に在住	22	81.5%
2	番町地区に通勤・通学	1	3.7%
3	その他	4	14.8%
4	無回答	0	0.0%
計		27	100.0%



## ■これまでの番町地区の説明会等の参加について

Q1 番町地区でこれまでに開催された説明会や公聴会、オープンハウス等に参加したことはありますか。

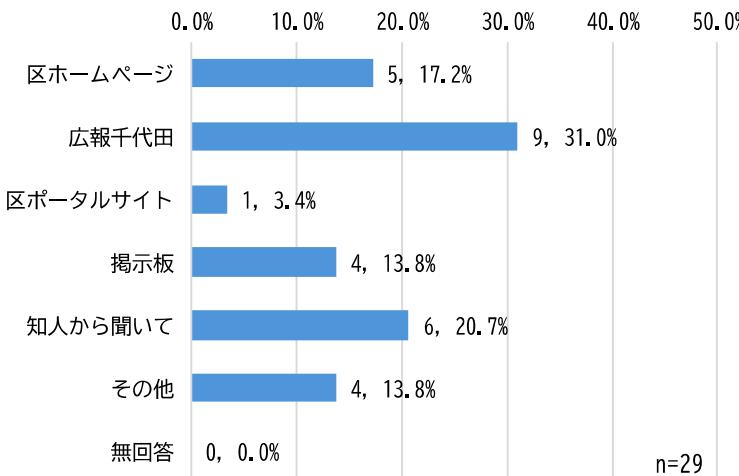
		回答数	割合
1	何回か参加した	16	59.3%
2	一度参加した	2	7.4%
3	知っていたが参加したことはない	5	18.5%
4	知らなかった	4	14.8%
5	無回答	0	0.0%
	計	27	100.0%



## ■本日のシンポジウムについて

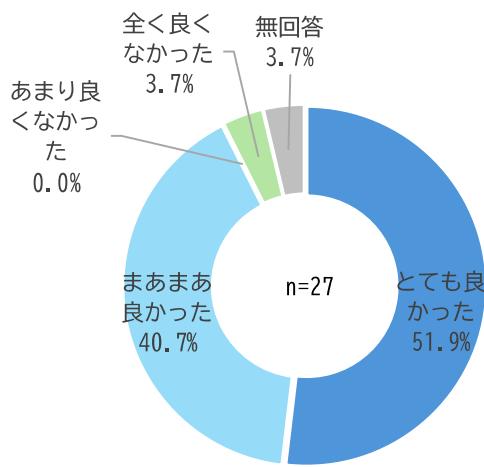
Q2 本日のシンポジウムを知ったきっかけをお教えてください。（複数回答含む）

		回答数	割合
1	区ホームページ	5	17.2%
2	広報千代田	9	31.0%
3	区ポータルサイト	1	3.4%
4	掲示板	4	13.8%
5	知人から聞いて	6	20.7%
6	その他	4	13.8%
7	無回答	0	0.0%
	計	29	—



Q3-1：本日のシンポジウムの満足度をお教えください。

		回答数	割合
1	とても良かった	14	51.9%
2	まあまあ良かった	11	40.7%
3	あまり良くなかった	0	0.0%
4	全く良くなかった	1	3.7%
5	無回答	1	3.7%
	計	27	100.0%



Q3-2：そのように感じた理由

- ・同じ町に住む方の想いが可視化された。
- ・この場で出されたアイデア、意見がどのように生かされていくのかが分からなかった。

自分とは異なる意見、アイディアを聞くことができた。

色々な人に会って色々な話を聞けた

多くの方のご意見を伺えた

30人皆さんが番町が好きで殆ど同じように感じていることが分かった。町会のあり方も問題に思っていることも分かった。

知らなかつた価値観を知れた。

事前の情報提供があるともっと良かった。（当日の流れなど）

いろいろな方とコミュニケーションを取ることができた。

番町について知れたり、住民の方の意見を聞けた

建設的な意見も多くあり、前向きな場だったと思う

企画自体が画期的。今後も継続していくことが大事で必要だと痛感。意見交換をメンバーを変えて。

番町の住人の方がどれだけこの街に愛情を持っているかを認識したし、次世代にも残したい思いで行動されているのだと感じられた。多世代の方と意見交換できて良かった。

立場の違う方の意見を聞けた

交流の機会が得られた

けんか腰の方が少なく、穏やかに前向きな意見を言っていらっしゃる方が多かったので。

番町の在住者の方のお考えを知りました。

こういった区主催の、住民が地域の未来を話し合う場は今回が初の試みということで、まずは開催されたことに意義があると思いました。この機会に感謝いたします。

番町に長年住んでいる方々の多くが私と同じような価値観を持っていると分かったこともうれしい発見でした。

ただ、各セッションでグループを組む際は各々に任せるのでなく、機械的な方法でランダムな組み合わせになるようにすれば、より異なった意見 参加者にも触れられたのではないかと思いました。

また、何人かの参加者について疑問を感じました。番町がどうというよりご自分の活動に関するご意見が多く、シンポジウムの趣旨に合っていないのでは、というのが正直な感想です。

次回からは、せめて番町と何らかの関わりと思い入れがある方に限定していただきたいと強く思います。

- ・附帯決議に基づく「前向きに話し合える場」では全くなかった。本当に参加したい関係者がはねられて、関係のない人が参加していた（在住・在勤・在学でもない方が数人、また区内在勤だが「番町を知らない」人まで入っていた。上の回答でも「その他」とあるが、選択肢としておかしい）。

- ・参加者が正しい情報に基づいて話していないこともあります、無責任な発言が多いと感じた。

- ・「附帯決議」が何か、今日はそれに基づく話なのか、全然知らずに来ていた人がいた。募集要項にもそのようなことは書いてなかったから当然だと思う。区がまず二番町再開発・附帯決議では何が求められているかについての説明会を行い、しっかり理解された上で、「すべての」関係者が参加できる場がもたれなければ、「附帯決議に基づく『前向きな話し合いの場』にはならない。

- ・附帯決議で求められているのは「二分している地区の融和」であり、「なお、日テレ通り全体のまちづくり」は追加事項でしかない。それを一緒にして議論し、二番町地区を抜き出すというのは順序が逆である。

ふんわりした「あったらいいもの、よさそうなもの」を聞いて盛り上げ、雰囲気がよくなつた、というアリバイ作りをされた感じがした。

- ・地区を二分しているのは、① 狹い道路沿いに超高層が建ち、容積率が1.5倍も増えることへの恐怖

- ② 「あったらよさそう」程度のものを盛り込んで、人流が増え、インフラが圧迫され、喧噪化すること、一言で言えば、「番町の環境が変わってしまうこと」、であるのだから、附帯決議に基づき「高さや容積率を下げ、環境への影響を減らす努力」に注力しなければ、納得は得られない。

それを、逆に地域の希望をブレストでわざわざひねり出して積み上げ、やはり大きなものが必要で、「皆様のためになることをするから人流がふえる（すでに日テレはそう言っている）」という話に持ってゆくのは本末転倒である。

・区も事業者も環境評価をはっきり表に出さず、（別の場でだが）区は住民に対し「探せばどこかにある」と投げた言い方をした。住民が探し出しても、「容積率が1.5倍に増えるのに、就業者数の増加は1.3倍である」とか、「歩行者の増加分は、就業者数の増加によるものではなく、店舗に来る人の増加分である」などとしていて理解できない。まずこれらについて区から納得のいく説明をしてもらいたい。これが住民の一番の関心事であり、本当に番町の次世代を語るなら、環境問題の整理が不可欠である。

・イベントの騒音で困っているが、連絡先がわからず、仕方なく窓を閉めたり、外出してしのいでいる人や、4~5時間もシンポジウムに時間をとる体力も時間もない弱者、またこうした作業型イベントが苦手な人、など、本当の「サイレントマジョリティー」が関われないやり方だった。

（実際、往復を含め5時間もかかり、その中でも何度も席を変えさせられ疲弊した。）

・当該地域の近くで、「誰でも」、再開発の懸念事項が解消されるまでとことん、何回でも「普通の話し合い」をしなければいけないと思う。

・今回の遊びのようなやり方では、間違った発言も修正する機会はなく、個々の問題追及が深められない。

例えば、「エリマネを民間に任せたくない」という意見が複数あったが、深められなかつた。

・わちゃわちゃして発表させたものをあたかも多くの住民から出たアイデアのように提示されると、二番町計画の最初の「住民を代表していない町会長が、盆踊り広場があれば高くしてもいい」と言ったことが独り歩きしてその後の地区的分断につながったことの繰り返しになる。

・このような会が「前向きな話し合いの場」と標榜され、二番町再開発計画の与件整理・基本計画に加えられることはやめてもらいたい。

自己紹介時にも伝えたが、東京都千代田区で13年勤務しながら番町地区の事については全く知らなくても自らの提案を受け入れてくれる所

Q4：ワールドカフェの全体共有の中で、特に印象に残った意見や内容をお教えください。

・番町の歴史の共有

・日テレ問題以外にも新旧住民の交流や、バリアフリー、子どもの遊び場の不足など、問題が山積していることに驚きました。

・番町のイメージを固めていく必要がある。

→どんな街にしていきたいのか？

「こうなってほしくない」の共有はできそう！それを共有して、今後どうしていくと良いのか考えられるといいよね！

具体的ではあるが、銭湯がそんなに人気なのか？

安心安全に暮らせる街=広い遊歩道を作る、自動車スピードの制限、建物（高さ、色、建材etc）のルールブック作り

都計審で対立していた本人のお話を聞けたこと

静けさ、にぎわいらない

コミュニケーションを取りたい方（町会活動の参加等）が多くいらしたのが驚いた。

#### 情報の共有、発信方法

個人的には銭湯のあるまちをあげたが、他にも同じような考え方の方が多いて新鮮だった

- ・時間が細切れの印象あり。
- ・でも面白かったです。
- ・盛り沢山の内容で、半日に詰め込み過ぎだったのでは？

町会に入りたい人が多い。町会を運営している方々の工夫。

意見は違えど番町を好き、良くしていきたいという思いは同じであるということ

#### 歩行空間の拡充

#### 検討する時間が短い

番町に長年住んでいる方々がだいたい私と同じような価値観を持たれないとわかったこと。単純に普段出会うことが難しい世代のご近所の方とお会いして話せたことだけでも新鮮で貴重な体験だった。

イベントやお知らせ etc の情報共有が足りない所（ホームページなどに載らず自らで調べたりと負担も生じる為、後々になってからこういう情報があったとのケースも多々ある）

Q5：チェックアウト (Good & New) の中で、特に印象に残った意見や内容をお教えください。

- ・子供の遊び場、特にボール遊びの深刻な不足
- ・銭湯を求めている方の多さ
- ・広報紙や町会が、まだまだ十分に機能していないこと

#### “番町を教える会”

「参加者は皆、番町が好き！」ということが分かった。

具体的になった場合は、どのように整理していくか

皆、番町を愛していること

若い方の意見も聞くことが出来て良かった。

知らなかつた意見を知れた

オープンザフューチャー・バイ・アートに賛同を得た

コミュニティの場、町会ともっとつながりたい、など町会の役割の重要性を認識できた。

Good：子どものための広場や、住人の憩いの場を皆欲していることを知れた。皆とにかく番町が好きと知れた。

New：町会があるということ。

番町が好き+コミュニティ、コミュニケーション→エリアマネジメントは住民ができる

皆様の新しい発見が各々あったことが印象的でした。

前向きな発言が多く素晴らしい

「絶対あってはいけないこと」というトピックで、こうなってほしくないというビジョンがグループ全員で一致したこと（港区の〇〇ヒルズ群を代表する、どこにでもあるような金太郎飴的開発だけはやめてもらいたい！）

・グループワークの段階で「番町は学校が多いので、運動会、学園祭で年20回くらい、大きな音がする。

文教地区なので、我々はそれは受け入れている。それ以上のイベントの騒音は勘弁してほしい」との話があったが、他のメンバーが番町を知らないので、発表に盛り込めなかつたとのことを聞いた。

Q6：シンポジウムの参加前と参加後で、変わったことがあればお教えください。

・番町を好きな人が多い。

・自分と同意見の方が多いことに気づけた

→住民の想いはほぼ同じなのでは？

日テレ再開発への想いがある方が予想以上に多いことが分かった。一方、町会とは限らないコミュニケーションの場を求めている方が多いことも分かった。

意見の対立を大きくしない方法として良かった。今後も話し合っていくことが必要

明確になった

番町にはまだまだ未来があり、期待できる

今後の地域活動の参考になりました。

区役所にも変化の兆し？嬉しいです。

街をつくるということを主体的に考えることができ、より身近に番町を感じられた。

よりこの地域に愛着が沸いた。

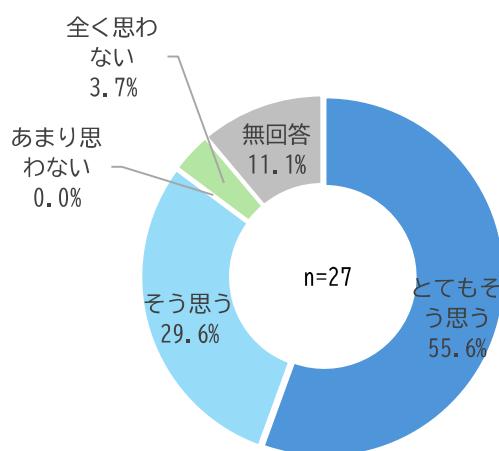
番町愛が深かった

もっと地域の人と出会い、対話し、意思表示をして、番町の未来に関わっていきたいと思った。

千代田区番町周辺を自らの足で散策して目で見て確かめたいと思えるようになる。（場所でいうと市ヶ谷辺りだと分かり、電車の乗り換えはあるが具体的な所までは行っていない）⇒参加前は自分が番町地区の事で考えている事のみを考えていたが、番町地区全域について深く考えられるようになったという点です。

Q7-1：今回のように、多様なメンバーと意見交換を行う場が番町地区に必要と感じましたか。

		回答数	割合
1	とてもそう思う	15	55.6%
2	そう思う	8	29.6%
3	あまり思わない	0	0.0%
4	全く思わない	1	3.7%
5	無回答	3	11.1%
	計	27	100.0%



Q7-2：そのように感じた理由

コミュニケーションと情報公開が不足している。
町会だと情報が来ない。一部の人でない、住民も勤務者も学生も一緒に意見交換ができるべき良い
会ってみることは大切
楽しかったです
若い人が少なすぎる。子ども（小学生であっても）聞いてみると良い
いろいろな意見が聞けるため
情報共有、伝達が圧倒的に不足していると感じた。
従来からの住民の方と新しく転入された方々との交流が必要
皆さんがそう発言されていた為
私の世代だと、番町小時代は越境通学の同級生がほとんどだったので、意外とご近所さんをあまり知らない。話してみると共通の知り合いもいたりして楽しかった。また新たに番町に引っ越された方にも（興味があれば）ここはこんな歴史がありますよ、こんな土地柄ですよと共有して、一緒に地域をよりよいものにしていきたいと思った。
年に1回だけでなく、月1回開催する方が変化が見られる。

- ・地域に暮らしている者、経緯をよく知る者以外がイメージでものを言うのはよくない。  
無責任で、話が散乱する。
- ・「このような会に慣れている者」「ワークショップや発信が好きな者」が集まり、言つたことが独り歩きしたり、行政や事業者に都合のよいことが切り取られていくことのほうが怖い。
- ・「非常に込み入った地域の問題」を知らないコーディネーター（ご本人がそうおっしゃっていた）に任せるとではなく、責任ある者が矢面に立ち、地域の近くで、「誰でも」、再開発の懸念事項が解消されるまでとことん、何回でも「普通の話し合い」をする場を設けなければいけない。
- ・「あつたらいいもの」は具体的にあげられるが、「静けさを維持したい」は具体的になりにくい。  
静かな施設でも人は来てしまう。今回のような、誘導的な手法はやめてほしい。
- ・最近地域で行われた、「誰でも参加でき、事実確認を目的とし、質問内容を限定されず、行政から答えを聞ける説明会」とはまったく内容も危機感も違った。

Q8：Q7で「とてもそう思う」・「そう思う」とお答えした方にお伺いします。意見交換の方法について、ご意見があればお教えください。

#### LINE、SNS、HPなど

- ・是非参加者を変えて回を重ねていただきたい。
- ・多くの住民は番町に愛着を持って住み、これからも住み続けたいと思っていることが改めて知り得て良かったです。

会の後、出た案に対して区としてどのように対応したか、次の会で報告してほしい。

このような場に出る人がある程度固定してしまうのでランダムに選んで招待通知を送る。

今回のような場はとても良かったですが、具体的に次に進める方法に着手していただけると嬉しいです。

#### 今回のやり方で良い

みんなで話すことは色んな面でプラスとなるため

こういったシンポジウムももちろん有効だと思うが、それなりの熱量がある人しか参加しないと思う。

やはり当日が多く意見があがったように、町会をもっとフランクで参加しやすいものにする。私も一応町会に入ってはいるが、予算についての会合くらいしか集会がないため、未だに参加したことはない。また連絡方法も手紙に限られているため、やりとりしづらい。

メールやSNSを活用してほしい。

一番町から六番町まであるが、小さな規模で各々活動するのは労力も時間ももったいないと思うので、全町会いっしょくたにした「番町会」、それがむりでもせめて二つくらいに合体できないものかと思う。

今回、円形方式で開催したが、大学の授業みたいにボードを使用したり、「パネルディスカッション」を活用する事でより深く意見が出てくると感じます。

Q9：今回のシンポジウムを踏まえ、改めて思い描く番町地域の将来像などがあればお教えてください。

放っておけば番町は自然に住宅街の様相を減らし、繁華街化する。昼間人口を抑える努力を怠れば、特徴のない街になってしまふと危惧する。

- ・老人から子どもまで、誰もが安心安全に暮らせる街
- ・バリアフリー化→老人、子ども、障害者も安心して暮らせる
- ・電柱の地中化→防災

住民も勤務者も学生も参加して、ゆるやかなつながりを持つエリア

丁寧な意見調整

静かで落ち着きのある上品な町、緑と水と広い空のある町

あきらめないで、将来世代のことも考えたまちづくりを追求していきたい。

今回の内容のフィードバックをメールやHPなどでお願いしたい。

- ・落ち着いた安心して住めるまち。何よりも住環境の保持
- ・都市マスに沿ったまちづくりを大切にしていただきたいです

住民が安心して暮らせる街を維持してほしい。参加してみてとても良かったです！

もともと住んでいる方も新しく住民になった方も、日テレも全ての人がこの街に住んで、この街で事業をやっていて良かったと思える地域に。

日テレ跡地は千代田区が潤沢にある資金1400億円を元に買い取ってくれたらいいのにと思つてしましました。

・夜間人口が増えているのに、そのためにという名目で昼間人口をふやすという、非論理的なまちづくりが横行する。

・作為的、誘導的な話し合いの会が持たれ、一方向に誘導され、住宅用途地域が商業用途地域に変更され、それを前例にして、次々に日テレ風の超高層ビルを中心とした再開発地ができ、「番町らしさがなくなる」ことが想像された。

・「日テレの再開発で駅構内がバリアフリーになるわけではなく、依然として地下鉄ホームから改札まで階段でしか上がれないところが残り、障害のある方や、心肺の弱い方は番町口が使えない」「超高層下で、ビル風が吹き、日陰になる、今の番町の森とは違う広場になる」、ことにビルができるから気づくことになつてしまう。

・エリアマネジメントを日テレ関係の企業が請け負うと、なんでもありになつてしまう。テナントを維持するためにどうしても集客が図られ、わざわざここでやる必要のないイベント（すでに行われている）が行われ、繁華街化する。

・テナントなどの希望を言っても根付くとは限らない。都心の再開発ビルで見られるゴーストタウン化や、無理な誘致で変なテナントに入れ替わる可能性もある。賃料を無理に下げると、周りのビルが空洞化する。（すでにビルは埋まりにくくなっている）

・都会人の利便性に合わせると営業時間も遅くなる。

・あれもこれも盛り込まれ、緊急時に細い道路でも交通の身動きがとれなくなる街。

・異論を封じ、最後の設計段階まで気を持たせるようなやり方では、本当に、都計審会長が都計審でおっしゃった「双方にとって不幸な結果に終わる」、そういう街になると思った。

番町の歴史や誇り、独自性を次世代に残すような再開発をしてほしい。具体的には、再開発ビルの外観を周囲に合わせる。ガラスの塊ではなく、レンガやタイルのような伝統的な素材、もしくはその代替素材を使う等。テナントも精査して、地域に役立つ物にしてほしい。新旧の住民がお互いを尊重できる出会いの場になってほしい。またせっかく今回のシンポジウムでいろいろな意見が出、そのなかには参加者の多くが賛成した意見もあったのだから、区側・日テレ側としてはこの機会を単なるガス抜きとせずに、民意として真剣に受けとめてもらいたい。

少子高齢化が進んでいる現代社会の中で、①子供達が安心して遊べる施設の整備（スポーツが出来る環境を作る為にバスケットゴールを多く設置する）+②千代田区ホームページを活用する（イベント事を掲載して地域住民との連携を図っていく）+③歩行者専用道路を拡充する

今回シンポジウムに参加して番町地区は再開発が凄い進んでいると感じた。流れに合わせた情報共有がより大事になると思いました。

## 二番町計画の検討ステップ

